

12. トラブルシューティング

	症 状	原 因	処 置
電 源	電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ■TB2 端子 AC100-FG 接続ミス ■ 1次側に AC100V が流れていない。 ■ヒューズが切れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●接続を確認してください。 ●TB2 端子 AC100V をテスターで確認してください。 ●AC100V 電源ヒューズ F1・F2 をそれぞれ確認してください。 (火災通報装置の電源ランプ確認)
1 1 9 番 通 報	火災通報装置本体の火災通報ボタンを押しても119番通報ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ■回線種別の設定がまちがっている。 ■電話回線の接続がまちがっている。 (ピンク回線は接続できない) (ISDN 回線には直接接続できない) ■他の装置を経由して火災通報装置に電話回線が接続されている。 (0088 等のアダプタがついている) ■本体が登録／確認モードになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電話回線のダイヤル方式を確認し、正しい設定にしてください。 ダイヤル式 (DP10・DP20) プッシュボタン式 (PB) 「確認方法」 火災通報装置または火災通報専用電話機の火災通報ボタンを押した時、119番をダイヤルする音が聞こえ、その後呼出トーンがでます。 ●添付ローゼットのL1・L2に加入回線からの配線が接続されているか確認してください。 「確認方法」 ローゼットのT1・T2に接続されている線ははずし、L1・L2にテスターで適切な電圧があるかを確認する。 (テスト用送受話器にてトーンが出ているか確認) ●電話回線(アナログ回線)を火災通報装置(L1, L2)に接続してください。 他の装置は(T1, T2)側に接続してください。 ●登録／確認モードを解除してください。 「確認方法」 7セグのドット表示部「.」が点灯している場合、登録／確認モード中です。

	症 状	原 因	処 置
1 1 9 番 通 報	火災通報専用電話機の火災通報ボタンを押しても 119 番通報ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ■火災通報装置と火災通報専用電話機間の配線がまちがっている。 ■専用電話機内のコネクターがはずれている。 ■他に押しボタンがついており、押し切りになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●正確に接続してください。 「確認方法」 火災通報専用電話機の F + ・ F - をテスターで確認。 DC13V 程度あれば、ボタンが押されていない状態。 0V なら押された状態または、接続ミス。 ●コネクターをきっちりとはめてください。 ●全ての押しボタンを確認し引き上げてください。
逆 信	消防から逆信を送っているが火災通報専用電話機から呼出し音が鳴らない。 (送受信器をあげると、通話ができる。)	<ul style="list-style-type: none"> ■火災通報専用電話機のフックがあがっている。 ■火災通報装置の前に FAX やビジネスホン主装置が接続されている。 (FAX と同じ回線は、逆信時 FAX が着信してしまうため使用できない。) ■逆信待ちの 10 秒間に電話局交換機からの逆信信号が届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フックを確実にかけてください。 「確認方法」 火災通報装置の HOOK と GND の端子をテスターで確認。 DC13V 程度あるか。 (0V ならフックがあがっている。) ●FAX やビジネスホン主装置の前に火災通報装置を接続してください。 ●消防指令台の逆信操作を速やかに且つ 3 秒以上の長押しで行っていただけよう、消防局に依頼してください。
応 答 ・ 確 認 ラ ンプ	火災通報ボタンを押しても、火災通報専用電話機の応答確認ランプがつかない。	<ul style="list-style-type: none"> ■火災通報装置と火災通報専用電話機の配線がまちがっている。 ■火災通報専用電話機から本体まで距離が遠い。(200m 以上、20Ω 以下) ■560Ω の抵抗がついていない。 ■火災通報専用電話機 3 台以上の場合、増設電源装置がついていない。 (電源容量不足) 	<ul style="list-style-type: none"> ●正確に接続してください。 ●増設装置と火災通報専用電話機の配線距離が短くなるよう増設装置を火災通報専用電話機の近くに設置して下さい。 ●抵抗をつけてください。 ●増設電源装置をつけてください。